

Q&A

- Q** 専門家ボランティアには、何か「資格」が必要ですか。
A 特に「資格」は必要ありません。NPOは様々な分野で助けを必要としています。仕事などで培った経験やスキルを生かして活動することができます。
- Q** 登録した後、活動場所を紹介してもらえるのですか。
A NPOから必要な人材の問い合わせがあった場合に、要望に合う専門家ボランティアを本人の了解を得て紹介しています。
- Q** 専門家ボランティアの活動は、全て無償ですか。
A ボランティアは、必ずしも無償である必要はありません。無償・有償については、紹介するNPOや専門家ボランティアの意向によります。両方で事前に条件を確認することが必要です。

登録のご案内

県では、分野別の専門家ボランティアの登録制度を設け、登録者の意向を確認の上、お手伝いを必要としているNPOに紹介しています。

また、登録者とNPOの交流機会をつくるためのイベントも随時実施しており、登録者には情報を提供しています。

会社員としてのスキル

総務、営業、財務、企画、
広報、コンサルティングなど

専門職としてのスキル

HPの作成、行政書士、公認会計士
税理士、デザイナーなど

行政職員としてのスキル

人事管理、資料づくり、
申請書の作成、予算の管理など

お問い合わせ先 埼玉県県民生活部共助社会づくり課

TEL 048-830-2828 FAX 048-830-4751

✉ a2835-07@pref.saitama.lg.jp HP 埼玉共助スタイル Q検索



● 専門家ボランティアって何？

人材確保に苦戦

活動資金の
調達に苦戦

あなたの経験やスキルを
地域が必要としています

地域の課題解決に
取り組むNPO

専門家ボランティア

福祉や環境、まちづくり、教育など様々な地域の課題解決には、NPO(※)の力が不可欠です。県内では、様々な分野でたくさんのNPOが活躍しています。しかし、その多くは、人材や活動資金の不足という課題に悩みながら活動しています。

あなたの仕事などを通じて培った経験やスキルを生かして、「ちょっとお手伝い」感覚で地域貢献してみませんか。

● 共助の力で地域を元気に

地域の
課題解決

地域との
結びつき

自分自身の
活力・やりがい

地域への
参加

2025年には、本県の65歳以上の高齢者は203万人になると推計されています。しかし、その8割は元気な高齢者と言われています。

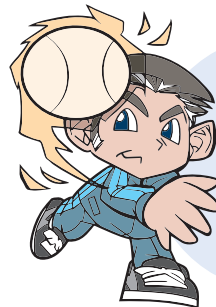
現役世代の人口が減っていく中では、世代を問わずに、みんなで地域を支えていく必要があります。

※ NPOとは「Non(ノン)＝非」「Profit(プロフィット)＝利益」「Organization(オーガニゼーション)＝組織」の頭文字を取った略語で、一般的には、ボランティア活動などの社会貢献活動を行う、営利を目的としない(利益を再分配しない)団体の総称です。

NPOという言葉に含まれる団体は、組織の形態から法人格を持たない任意の団体から、法人格を持つ団体(特定非営利活動法人、公益社団(財団)法人、学校法人、医療法人、宗教法人、協同組合など)まで非常に広いものになります。

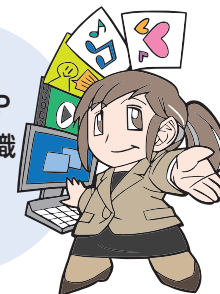
● こんな形で活躍してみませんか

子育て支援施設の改修を検討しているNPOに対して、建築士としての仕事経験を生かして、使いやすい施設になるよう改修箇所や経費についてアドバイス。



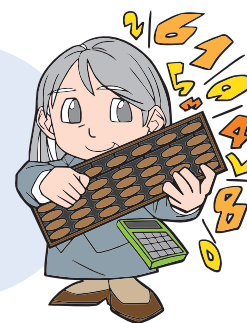
子ども達のボール投げ能力向上を目指し、ボール投げ教室を保育園や幼稚園で開催するNPOで、野球をしてきた経験を生かして、ボール投げ指導のお手伝い。

障害者就労支援の作業所の利用者増加を目指し、HPの開設による広報活動を検討しているNPOで、ITの知識を生かして、HPづくりのお手伝い。



助成金の採択を目指すNPOに対して、会社員や公務員としての経験を生かして、申請書類の書き方やプレゼンテーションの仕方をアドバイス。

会計書類を効率的かつ正確に作成したい、また、財務の観点から法人運営を見直したいNPOに対して、会社員としての会計知識を生かして、会計処理をサポート。



◆ほかにこんな形で

- グラフィックデザイナーがチラシ作成をお手伝い
- 行政書士が法人設立をバックアップ
- 広報の経験者がイベントや活動の広報手法をアドバイス